

Vestax®

PDT-6000

取扱説明書



VESTAX CORP.

2-37-1 Kamiyama, Setagaya-ku, Tokyo 154
Phone: 03-3412-7011 Fax: 03-3412-7013

VESTAX MUSICAL ELECTRONICS CORP.

2860 Cordelia Rd. Suite 120 Fairfield, CA 94585 U.S.A.
Phone: 707-427-1920 Fax: 707-427-2023

VESTAX (Europe) Ltd.

18 St. Christophers Road, Haslemere, Surrey GU27 10Q England.
Phone: 0428-653117 Fax: 0428-661021

ごあいさつ

この度は、VESTAX PDT-6000をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

特 長

- ハイトルク ダイレクトドライブ モーターの採用により、起動トルクは1.6kg・cm 重量級ターンテーブルがわずか 0.5秒(33⅓rpm時)で立ち上がり、頭出しがタイミングよく行えます。
- トーンアームとターンテーブルドライブモーターをフローティングさせた同一プレート上にマウントすることにより、振動を吸収しハウリングを極力防止しました。大音量での演奏中にもトラブルを最小限に押さえます。
- 仮相一点支持ジンバルサポートシステムを採用したS字形ロングアームにより、基本性能をさらに追求しました。一般オーディオ機器としても、トップクラスのクオリティーを誇ります。
- 連続可変ピッチコントロール方式を採用、極めて正確な回転精度を保ったまま±10%の範囲でピッチを連続的に変化させることができます。又、ピッチフェーダーはクリックを持たないために全域にわたり微妙な調整も可能です。
- ピッチフェーダーはデタッチャブル フェーダー システム方式によりメンテナンスを容易にしました。
- クォーツロックには、ON/OFF切替えスイッチを採用し、ピッチを変化させていても、瞬時に定速回転に切替えられます。
- デジタル表示によるピッチディスプレイにより、演奏中のレコードのピッチを容易に確認することができます。
- 針先を照明するライトは、取外し可能なデタッチャブル ミニライトを採用しました。
- スタート/ストップを外部(フットスイッチ等)でコントロールするためのリモートコントロール端子を装備しています。
- 電子ブレーキ機構を採用していますので、ワンタッチで素早くブレーキがかかります。
- ラバー製ボタンはタッチ感がよく、操作性に優れています。
- 4つの大型インシュレーターが、外部振動の悪影響を効果的に抑止します。
- スクラッチプレイが可能なスリップマットを付属しました。

安全上のご注意

- 本機は交流(AC)電源100V専用ですので、直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用することはできません。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。
- 水等に濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして電線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびビン等の金属類を入れないようご注意ください。感電や故障の原因となります。
- 本機外装のカバーを取り外して内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、弊社はその責任を負いません。

設置上のご注意

常温(5~35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面をふかないで下さい。塗装がはげることがあります。

アフターサービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理いたします。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または弊社サービスにご相談下さい。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

取扱い上のご注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。

トーンアームからシェルごと取はずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。

また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、トーンアームに取りつけてください。

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音がするだけでなく、スピーカをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

4. ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウオーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。

ハムノイズは、他の電源製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプ、ミキサーのGND端子にしっかりと接続してあるかどうかチェックしてください。

5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- バランスウエイト及びインサイドフォースキャンセラーやシェル／カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。